

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 09-01-03	事務事業名 市営住宅維持管理費	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	--------------------	------------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要	補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
	市営住宅は3箇所建物概要は次のとおりである。①東伏見住宅 東伏見6-8 昭和30年建築 1戸建(11戸) ②泉町住宅 泉町4-3 昭和31年建築 1戸建(16戸) ③オーシャンハウス(借上住宅) 平成5年建築 鉄筋コンクリート3階建(25室) 合計で52戸を公営住宅法に基づき管理、運営を行なっている。東伏見、泉町の市営住宅は、築56年が経過しているため、新規入居者の募集は行なっていない。シルバーピアであるオーシャンハウスには福祉政策としての福祉協力員が居住し、この生活協力員の居室に対しては、国の交付金を受けている。		
事業開始時期	昭和30 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		39,096	40,061	40,033	41,606
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		245	466	245	1,014
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		6,162	6,158	6,228	6,144
一般財源		32,689	33,437	33,560	34,448
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,450	2,424	2,424	2,450
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	41,546	42,485	42,457	44,056
単位当たりコスト (E)=(D)/(市営住宅入居戸数)	千円	799	850	849	847

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①市営住宅の戸数	実績値 戸	52	52	52	52
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 市営住宅は市内に3箇所あって、東伏見1戸建て11棟・泉町1戸建て16棟・オーシャンハウス(借上住宅)3階建て25室、合計52戸を管理している。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 市営住宅入居戸数	目標値 戸	52	52	52	52
	実績値 戸	52	50	50	52
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 東伏見、泉町住宅は建築後56年が経過し、木造住宅の耐用年数、維持管理の面から新規入居はしてない。市営住宅の戸数は年度末現在で計上している。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成20年度から市営住宅のあり方について、庁内検討会及び部会を立ち上げ、建替えについて、具体的な課題の検討や調査・分析を行なった。家族向けの市営住宅については、老朽化等の理由から新たな募集は行っていないため、入居希望者のニーズに応えられない状況である。現在は、高齢者専用住宅のみ募集を行っている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市のうち19市で市営住宅の管理、運営を実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 都営住宅、高齢者アパート事業を実施している。

事業コード 09-01-03	事務事業名 市営住宅維持管理費	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	--------------------	------------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>市営住宅は、健康で文化的な生活を営む住宅を整備し、住宅に困窮する低所得者に対して低額な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することとなるため。本事業の必要性がある。</p> <p>東伏見・泉町市営住宅は木造の一戸建て住宅として昭和30年代に建築され、既に50年以上が経過している。木造住宅の耐用年数、維持管理の面から見直しを行う必要があるために庁内検討会・部会を設置し市営住宅のあり方の検討を行っている。平成22年度までは、検討課題の調査、分析を行うと共に、借上げ住宅の所有者と市営住宅入居者に対するアンケート調査を実施した。平成23年度は当該市営住宅の耐用年数、維持管理、敷地の有効活用の課題を踏まえ、国の補助金を活用するためには公営住宅長寿命化計画を策定することが必須の条件である。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

一次評価: 拡充 継続実施 改善・見直し 抜本的見直し 休止 廃止

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>市営住宅は、老朽化及び耐震性の観点からそのあり方について、庁内検討会の検討結果を踏まえて見直す必要がある。その際には、他市の対応を研究するとともに、市内3か所にある市営住宅の集約化や特定の利用者に固定化している利用形態にも配慮し、地域主権の動向に注視して利用料金についても検討する必要があると考える。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

二次評価: 拡充 継続実施 改善・見直し 抜本的見直し 休止 廃止

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市営住宅については、老朽化が著しい等の課題を踏まえ、庁内に検討委員会を設置して将来的な対応を検討しているところである。第三次行財政改革の重点課題として取り組んでいる「公共施設の適正配置・有効活用」における主要な課題の一つと捉え、施設の集約化を推進するとともに、今後の市営住宅に期待する役割や位置づけ、周辺環境や併設機能、利用者の負担等についても併せて整理されたい。</p>